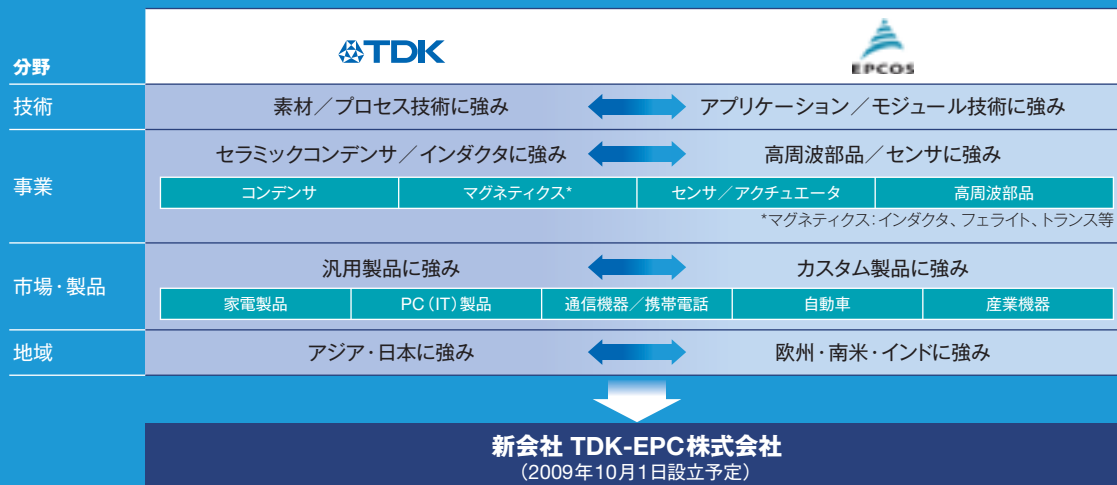


電子部品業界におけるグローバルリーディング



電子部品事業統合契約の締結発表時(2008年7月31日)の上釜社長(左)とPegam社長(右)

2008年10月、当社はEPCOS AG(本社ドイツ)を連結子会社としました。そして、当社は受動部品事業の基盤強化を最短かつ最大に実現するため、当社の受動部品事業(コンデンサ、マグネティクス、高周波部品、センサ・アクチュエータ及び電子部品営業の各グループ)を分離し、2009年10月1日に新会社を設立する予定です。なお、新会社は当社100%出資の子会社であり、EPCOS AGを新会社の子会社とします。



新会社TDK-EPC株式会社の目指すところ

上表のとおり当社とEPCOS AGは各々の出自とこれまでの成長の過程が異なることから、技術・事業・市場・製品・地域において強みが異なります。事業を統合する目的は、ほぼ全ての分野での相互補完と相乗効果を生み出すことができ、企業力の強化を図るところにあります。

新会社TDK-EPC株式会社のもとでEPCOSグループと事業統合を行い、両社の持つ強みを活かし、さらなる成長に向けた競争力の強化を図り、電子部品のグローバルリーディング企業を目指します。

企業を目指してEPCOS AGを買収

次世代の電子部品を生み出す技術開発力

当社はフェライトをはじめとする磁性材料、誘電体材料、圧電体材料など、各種素材の開発技術と、それを利用した多種多様な電子部品を商品化するためのプロセス技術等に強みがあります。一方、EPCOS AGは大手通信機器メーカーが激しく競争する欧州市場を中心に事業展開をしてきたこともあり、携帯電話用の電子部品開発に必要なモジュール技術・アプリケーション対応技術等に強みを有しています。

電子部品開発においては素材の開発・微細加工等の製法開発、そして最終セット製品の要求に応える機能や形状を実現するかが重要な課題です。当社とEPCOS AGの持つ技術を掛け合わせた相乗効果は、この課題を効率よく解決できる可能性を持っています。

相乗効果の具体例としては、当社がHDD用ヘッドの分野で蓄積してきた薄膜積層技術を

EPCOS AGのSAWフィルタの進化に活かしたり、逆にEPCOS AGの持つMEMS (Micro Electro Mechanical Systems)*技術を当社の電子部品開発に導入できること等が挙げられます。

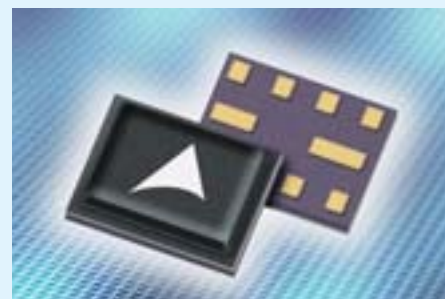
* 微小電気機械システムの略：半導体微細加工技術を使って微細機械部品と電子回路を組み合わせたシステム



EPCOS AGのSAWフィルタ生産現場



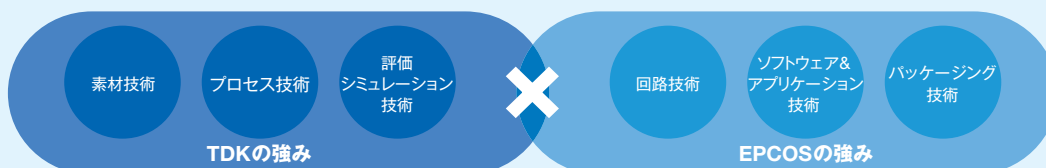
EPCOS AGの携帯電話用フロントエンドモジュール



EPCOS AGの携帯電話向けSAWフィルタ

また、高機能化が進む携帯電話やノートPC、安全・快適・省エネルギー化を目指す自動車等では小型・軽量・高効率な電子部品を目指したモジュール化とシステム化が進んでいます。モジュール製品の開発には様々な技術が必要ですが、当社の強みである素材技術・プロセス技術・評価シミュレーション技術とEPCOS AGの回路技術・ソフトウェア&アプリケーション技術・パッケージング技術を融合させることで先進のモジュール及びシステム製品を創出できる体制が整います。

今後の電子部品のモジュール化とシステム化に対応



広がる事業分野／市場・製品

当社は主に、家電製品やパーソナルコンピュータ(PC)等の汎用製品向けのセラミックコンデンサやインダクティブデバイスを得意としています。また、EPCOS AGは自動車向けの燃料噴射システム用ピエゾアクチュエータや携帯電話向けのSAWフィルタ、産業機器向けのアルミ電解コンデンサ・フィルムコンデンサ等のカスタム(特注)製品を得意としています。

コンデンサを例に挙げますと、欧州を中心に高いシェアを確保しているEPCOS AGの

アルミ電解コンデンサ・フィルムコンデンサが当社の

積層セラミックチップコンデンサに加わり、より広範囲の用途をカバーする製品が揃います。

EPCOS AGの大容量パワーコンデンサは風力・太陽光発電システムのパワーコンディショ

ナー等に使用されており、アルミ電解コンデンサはTDKラムダ社の電源にも搭載可能です。こ

のように、統合により事業・市場・製品が大きく広がり、事業機会の拡大が期待できます。



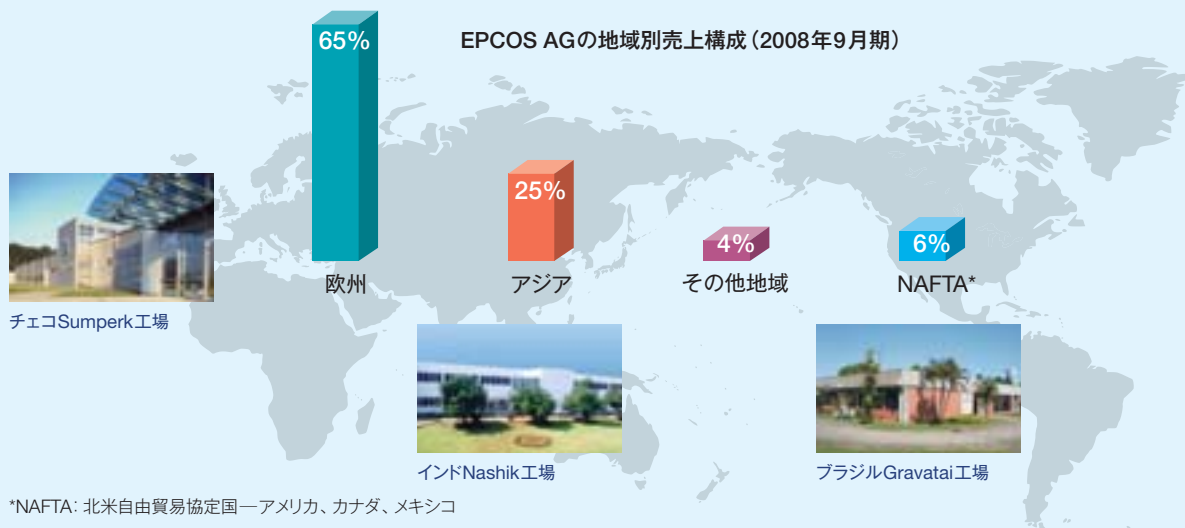
EPCOS AGの電源用アルミ電解コンデンサ



EPCOS AGのフィルムコンデンサ

よりグローバルな営業・開発・生産活動が可能に

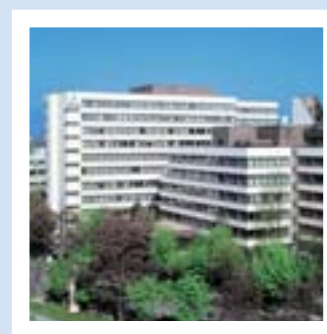
当社は日本とアジア市場が主要なマーケットですが、EPCOS AGは欧州を中心として今後成長が予想されているブラジル・インド・ロシア等のマーケットでもビジネスを展開しています。また、EPCOS AGは欧州・米州・アジア太平洋地区に20以上の開発・製造拠点を有しており、当社の持つ拠点と合わせた総合力を大きく増強できます。世界経済の状況等、事業環境が予断を許さないなか、よりグローバルにアンテナを張り巡らしたマーケティング活動は、より戦略的に市場・製品・技術のニーズを先取りできる優位性があります。



[EPCOS AGの概要]

EPCOS AGは様々な電子・電気機器に組み込まれる電子部品・モジュール・システムにおける世界有数のメーカーで、その製品はテレビ・DVDレコーダ・コンピュータ等の民生機器から、自動車・携帯電話・工場自動化システム・風力・太陽光発電等の幅広い分野で使用されています。

- 企業の生い立ち: EPCOS AGはドイツのSiemens AGの部品部門を起源とし、その後、パナソニックグループの子会社である旧松下電子部品株式会社とSiemens AGとの合併会社として設立されました。
- 本社: ドイツ ミュンヘン市
- 社員数: 21,195名(2008年9月30日現在)
- 2008年9月期(2007年10月1日~2008年9月30日)の財産及び損益の状況
 - ・売上高: 1,478百万ユーロ
 - ・当期純利益: 64百万ユーロ/当期純利益率4.4%
 - ・総資産: 1,395百万ユーロ
 - ・株主資本: 675百万ユーロ/株主資本比率48.4%



ミュンヘンの本社

● 主要製品

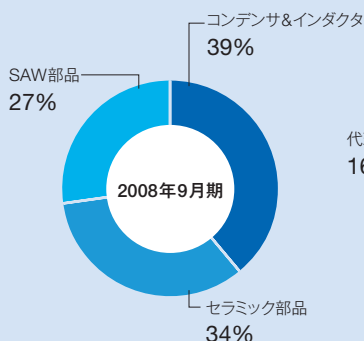


セラミック部品

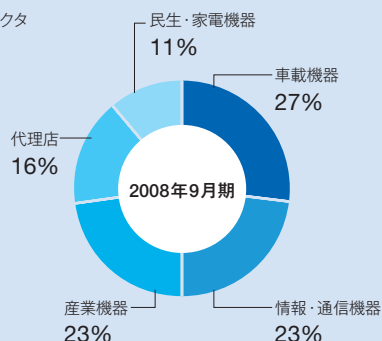
コンデンサ&インダクタ

SAW部品

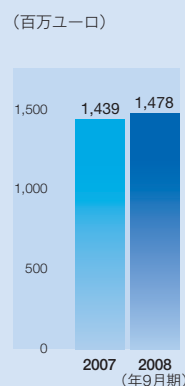
製品別売上構成



市場別売上構成



売上高



当期純利益

